

## 臨時アンコール日本人会役員会 議事録

日時:2016年12月26日(月)12:00~15:00

出席:鬼、今井、鈴木、永澤、西根、山内(順不同、敬称略)

場所:元気家

議事録:山内

### 議題:アンコール祇園祭につき今後の説明をどうするか?

#### 【現状】

会員の皆様から、アンコール日本人会とアンコール祇園祭との関わりについての問い合わせがある。

#### ・共催になった理由

>今井:当初、日本人会を主催にしたいと考えた。

>鬼 :前例の無いイベントで規模も大きく、イメージができない為、主催ではなく、共催であればとなった。盆踊りが中止になった理由は、場所代を共催として払い、祇園祭に日本人会としての協力をするので、予算的にも役員負担を考えると祭りは一つに絞らざるを得なかったこと。

協賛ではないのは、(国際交流基金への)助成申請書類を提出にするにあたり「共催」と名前を出す必要があったから。

#### ・時期が変わった(11月から2月になった)理由

>鬼 :本当は11月が良かった。なぜなら、12月以降は動ける役員が少ないから。

>今井:ハイシーズンの方が、お客さんが入ると思うから。京都からも出店があるから、お客が多い時がいい。

>永澤:毎年11月で同じくハイシーズンである。理由にならない。

>今井:新たなチャレンジとして実施するには時期を変えたかった。また、日本からの協力者も11月では来られない。協力者を仰ぐのには11月よりも2月が良い。それ以上に11月だと時間がなかった。(準備期間として、5ヶ月しかない。2月なら8ヶ月)

>永澤:来年度ではダメだったのか?様子見をする必要もあった。

>今井:来年度はまたメンバーが変わってしまうから、今年度にやる必要があった。

#### 【今後の日本人会としての関わり方】

・このまま共催にするかどうか

>共催として書類等を出しているところは?

>今井:京都市、京都新聞、大使館は「共催はどこ?」と聞かれて書面などではなく口頭で回答している。

国際交流基金ではもう少しカンボジア人のための思考を、なぜカンボジアであるのか?という面を考えて欲しいと言われて書類は通ってない。

> 鬼 :すでに、「共催」として書類を出している以上、取り下げは難しい。

このまま共催で行くことに決定。NPO法人ま心が全ての責任を持つ形で、誓約書ありでの共催とする。

共催は公的なものなので、名前を残す。

**【当日まで、また当日の動き】**

・日本人会として動くのかどうか？

当日動ける役員は期待できない。

> 永澤:今からでも当日まで、当日動ける人を確保しなくてはならないのでは？

> 今井:京都側で準備ができています。

・当日までの動き

アンコール日本人会主催イベントなのかと誤解を招く恐れがあるため、実際に役員が協賛金のお願ひなどで動くような役割はしない。

協賛金・出店・パフォーマンス等の募集案内を会員によるイベント情報として流す形で協力。

**会員の皆様への説明会**

日時 : 12月26日(月)19:00~19:25

場所 : 国際日本文化学園

出席者: アンコール日本人会役員 鬼、今井、鈴木、永澤、山内  
アンコール祇園祭実行委員 桑原、小賀坂、斎藤